



日本人学校等で勤務される先生方へ

# 特別支援教育サポート通信

2023年度  
第2号

(全4回発行)  
独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所  
情報・支援部 学校教育支援・連携  
担当<https://www.nise.go.jp/nc/>

「国立特別支援教育総合研究所 **発達障害教育推進センター**」の  
ウェブサイトをご紹介します。

## 検索方法

「発達障害教育推進  
センター」で検索



発達障害教育推進センターの  
ウェブサイトでは、発達障害教  
育に関する理解促進や、実践的  
な指導力の向上を図るための  
情報を提供しています。



学級の中に  
困っているお子さんはいませんか？



## ●●● 発達障害教育推進センターウェブサイトの活用例 ●●●

書くことが苦手なお子さんが在籍する学級の担任をしているA先生。ひらがなやかたかなでは、鏡文字(例：「く」→「>」)や、似ている形の字の間違い(例：「シ」→「ツ」)が度々みられます。どのように指導したら良いか悩んでいます。

## 指導・支援の解説が参考に



知りたい情報を  
検索！



### 推測できるつまずきの要因

- 形を正確に捉えることが難しい
- 形を正確に記憶することが難しい
- 目と手を協働させることが難しい

### 具体的な指導・支援の例

アセスメントに基づいて、担任の先生は、次のような指導を行ってみました。

- A. 鉛筆や消しゴムなどは、つかいやすいものを用意する
- B. マス目の大きいものや野線のある用紙を用意する
- C. 授業ではなるべくワークシートを使う
- D. 文字を練習する際、ことばによる意味づけを行う
- E. 漢字テストなどでは、大きめに書いていけば正解または準正解にする  
(ウェブサイトより引用)

指導の  
ヒントになる！



## 研修講義動画を活用して基礎的な内容を学習



講義動画に  
アクセス！



子どもにあった指導を考える際には、つまずきの  
パターンを把握することが大切です

子どもが書いた  
ノートやテストは有  
用な資料！

- 例えば、漢字のつまずきでは…
- ① まったく思い出すことができない
  - ② 細かい部分を書き間違える  
偏と旁を逆に書く
  - ③ 同じ音の漢字と間違える

校内研修にも  
活用できる！



特総研では、在外教育施設の先生方から、障害のあるお子さんへの指導や支援について、メールによる相談をお受けしております。ご希望の際は「wsodan2@nise.go.jp」宛てにお申込みください。なお、お返事までに1週間程度お時間をいただくこととなりますので、ご了解いただきますよう、よろしくお願いたします。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部 学校教育支援・連携担当